



2023年度IRIS活動報告集

メタデータ	言語: ja 出版者: 大阪公立大学 女性研究者支援室 公開日: 2024-04-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/0002000667



アイリス IRIS活動報告集

2023年度 大阪公立大学 理系女子大学院生チーム



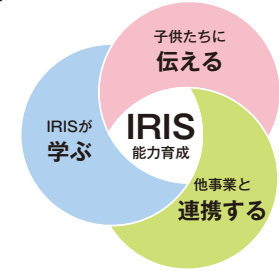
1年間の活動


5月	●任命式
6月	●企画実施講習会
7月	●企業による学びの応援プログラム (浅香山中学校) ●日経 STEAM2023 シンポジウム
8月	●日産財団リカジョ育成賞 準グランプリ受賞 ●2023年度オープンキャンパス リビング子ども大学 2023 ●IRIS-Café1 回目
9月	●IRIS サイエンス・キャンパス (藤井寺市) ●堺市学校理科展覧会 ●IRIS-Café2 回目 ●他大学理系女子大学生との交流 (徳島大学)
10月	●育英西高等学校との交流会 ●未来の博士育成ラボラトリー TA 活動 ●IRIS-Café 3 回目 ●[関西科学塾] C 日程 ●日産財団リカジョ育成賞 準グランプリ受賞インタビュー ●IRIS 進路講演会 (河内長野市)
11月	●中百舌鳥キャンパス白鷺祭「IRIS DRINK STAND」出店 ●IRIS OG 交流会 ●IRIS サイエンス・キャンパス (泉佐野市) ●[ノートルダム清心学園]「集まれ! 理系女子」第 15 回 全国大会 オンサイト ●プログラボ× IRIS コラボ企画 ●IRIS サイエンス・キャンパス (堺市) ●IRIS-Café 4 回目 ●IRIS 進路講演会 (吹田市) ●企業研修 (積水ハウス株式会社)
12月	●IRIS サイエンス・キャンパス (和泉市) ●未来の博士育成ラボラトリー 実験企画 ●教育 PRO 誌 IRIS インタビュー ●[ノートルダム清心学園]「集まれ! 理系女子」第 15 回 全国大会 オンライン ●企業による学びの応援プログラム (浜寺南中学校) ●IRIS 活動報告集作成
2月	●[ノートルダム清心学園]「集まれ! 理系女子」第 15 回 全国大会 オンライン ●企業による学びの応援プログラム (浜寺南中学校) ●IRIS 活動報告集作成
3月	●IRIS 活動報告会

IRISとは

IRISは、学長から任命を受けて、地域の身近な理系女性のロールモデルとして活躍しています。次世代の女性研究者・技術者を育成することを目的として、2023年度は、現代システム科学・情報学・理学・工学・農学・医学・獣医学・生活科学を研究する女子大学院生48名がIRIS第13期生として活動しました。

氏名	研究科	専攻	分野	学年	
日下安里紗	現代システム科学	現代システム科学	環境共生科学	M1	
多田 瑞葵	情報学	基幹情報学	知能情報学	M2	
覚 依珠美	理学	物理学	—	M2	
☆坂本 沙優		化学	—	M2	
山本 はな		生物学	—	M2	
松浦 真央			—	M2	
山岡 里帆			—	M2	
大村 美香			—	M2	
荒木優里奈		生物化学	—	M1	
山本奈生子			—	M1	
川畑まどか			—	M2	
三浦 千春			—	M1	
瀬間 晶穂	航空宇宙海洋系	航空宇宙工学	海洋システム工学	M1	
森田 万葉			—	M2	
玉野 朋佳	機械系	機械工学	—	M1	
奥村 加奈			—	M1	
松田 有未	電子物理系	電子物理工学	—	M1	
阪口 萌生			—	M1	
☆赤井 茉裕	工学	物質化学生命系	応用化学	M1	
山中 里奈			—	M1	
浅田 統子			化学工学	M2	
井上 結			—	M2	
片倉 遥香		マテリアル工学	—	M2	
本田このみ			—	M2	
網本 彩花			—	M1	
松村 菜沙			—	M2	
森村 天音		応用生物科学	—	—	M2
後藤 愛実				—	M2
小池 もも	—			D1	
松本 朋子	—			M1	
樗元なごみ	農学	生命機能化学	—	M1	
★中尾和佳奈			—	M2	
水口 里菜			—	M1	
永峰佐久良			—	M2	
吉川真莉菜			—	M1	
道管まなみ			—	M1	
山田 志帆			—	M1	
中辻あいの			—	M1	
谷川 実優			—	M2	
西田 江利			—	M2	
井上 佳穂	獣医学	動物構造機能学	—	M1	
木村 友			—	M1	
花井 麻愛			—	M1	
本田 千夏			—	M1	
脇田 利奈	獣医学	—	—	M2	
高見 優生			—	D1	
安藤 美玖			—	M2	
藤澤 美祐	生活科学	生活科学	食栄養学	M1	



日産財団「第6回リカジョ育成賞」 

日 ち 2023年8月4日(金)

会 場 横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ

主 催 公益財団法人 日産財団



IRIS 任命式

日 ち 2023年5月15日(月)

会 場 中百舌鳥キャンパス、杉本キャンパス、zoom(オンライン)

参加者数 40名

代表挨拶 (工)小池

IRIS 企画実施講習会

1 回 目 2023年5月31日(水)

2 回 目 2023年6月2日(金)

会 場 zoom(オンライン)

参加者数 48名

発 表 者 (理)坂本、(工)井上、(農)脇田

IRIS 活動報告会

日 ち 2024年3月15日(金)

会 場 中百舌鳥キャンパス、zoom(オンライン)

発 表 者 (理)坂本、(農)中辻、(医)安藤、(生)藤澤

M……博士前期課程、修士課程 D……博士後期課程、博士課程



IRIS サイエンス・キャンパス

IRISは、大阪府内の小・中・高校生に科学の楽しさや面白さを広めるための活動をしています。IRISサイエンス・キャンパスでは、科学実験の企画から実施までをIRISが主体となつて行います。(新型コロナウイルス感染症拡大防止における対策に十分配慮して実施しました)

化学系 ● 藤井寺市 固体？液体？謎の物体を触ってみよう！

日にち	2023年9月30日(土)
会場	藤井寺市市民総合会館 本館(パープルホール)小ホール
主催	藤井寺市 市民生活部 協働人權課
共催	大阪公立大学 女性研究者支援室
参加者数	小学生26名、保護者(見学)11名
IRIS	(工)井上、(農)西田、(生)藤澤



化学系 ● 泉佐野市 スライムをつくろう

日にち	2023年11月5日(日)
会場	レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター
主催	いずみさの女性センター
共催	大阪公立大学 女性研究者支援室
参加者数	小学生8名、保護者6名
IRIS	(理)坂本、(理)★松浦、(理)山岡



生物系 ● 堺市 目で見てたのしいDNAと酵素のはたらき

日にち	2023年11月18日(土)
会場	ソフィア・堺
主催	堺市教育委員会
共催	大阪公立大学 女性研究者支援室
参加者数	小学生18名(堺サイエンスクラブ生)
IRIS	(理)山本[は]、(農)花井、(医)安藤



物理系 ● 和泉市 なぜ？ どうして？ 光のふしぎ キラキラ☆万華鏡を作ろう！

日にち	2023年12月16日(土)
会場	モアいずみ研修室(和泉シティプラザ北棟4階)
主催	モアいずみ(和泉市男女共同参画センター)
共催	大阪公立大学 女性研究者支援室
参加者数	小学生9名、保護者9名
IRIS	(工)玉野、(工)松田、(農)★木村



[IRIS コメント]

企画準備段階では、子どもたちの反応を想像しながら、実験成功率を高める方法や言葉選びなど、何度も試行錯誤を重ねました。当日、目を輝かせて楽しそうに実験に取り組む様子や、真剣に実験結果を予想している姿が印象的で、メンバー一同達成感と喜びを感じました。IRISの活動を通して、子どもたちにとって、少しでも科学を身近に感じ、好きになるきっかけになれば幸いです。(理)松浦



[IRIS コメント]

実際に実験を行うリハーサルや準備を何度も重ね、当日を迎えました。結果の時は子どもたちだけではなく保護者も動画や写真を撮って参加していただき、楽しそうな顔が印象的でした。質問コーナーでは子どもたちの自由で柔軟な発想でされる質問にこちらが刺激を受け、私たちにとってもいい経験になりました。子どもたちが大学院や研究について興味を持ってもらうことができたと幸いです。(医)安藤

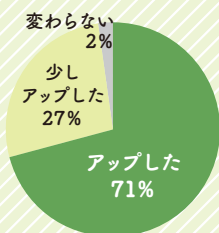


参加者の声

子ども

- もともと理科に興味はあったけど、いろいろな科学のことを教えてもらったのでもっと好きになりました。
- りかをもっとやりたいとおもった。
- 結果が予想とは合っていたり間違っていたりして、面白かった。予想するのが意外に楽しかった。
- 科学の力を使えば、花火やDNAの可視化など、いろんなことができるから。僕もこんなすごいことを1人でできるようになりたいとなった。

理科(実験)への興味



保護者

- スライムを作ったり、変化したり、とても楽しそうでした。説明がとても丁寧で有りがたかったです。私もとても楽しかったです。
- 子どもでも理解できるようにやさしく説明していただき、とても楽しかったようです。なかなか自宅では実験など出来ないのでもとても良い経験になったと思います。
- 小学3年生には難しかったかもしれませんが、実験や工作で現象を体験できて楽しく学べました。息子に「なぜ？」という驚きがあってよかったです。

保護者の満足度



IRIS 進路講演会

IRIS が、理系進路選択時にどのような考えをもっていたのか、苦手科目はどのように取り組んでいたのか進路選択は悩まなかったのかなど、自身の経験談を伝えることで、参加者の理系進学や将来に対する疑問や不安を解消することを目指しています。
(新型コロナウイルス感染拡大防止における対策に十分配慮して実施しました)

河内長野市

理工系分野へ広がる わたしの選択



日 ち	2023年10月29日(日)
会 場	河内長野市立市民交流センター(キックス)
主 催	河内長野市 総合政策部 人権推進課
共 催	大阪公立大学 女性研究者支援室
参加者数	中学生4名、高校生5名、保護者6名
IRIS	(情)★多田、(農)道菅、(獣)高見

吹田市

進め！理系の卵たち 現役理系女子大学院生に聞く 進路選択への疑問あれこれ



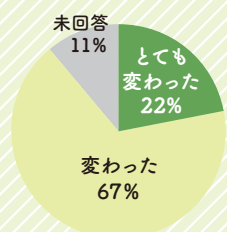
日 ち	2023年11月19日(日)
会 場	吹田市立男女共同参画センター 視聴覚室
主 催	吹田市
共 催	大阪公立大学 女性研究者支援室
参加者数	中学生3名、高校生2名、保護者2名
IRIS	(理)荒木、(理)三浦、(工)森村、(工)★小池

参加者の声

中高生

- 自分のやりたいことや興味のあることが可視化されて、進路選択のためになった。
- 理系についてあまり興味がなかったけど今回の講座で理系についての考えが変わったので参加して良かったと思いました。
- 講義形式の説明だけでなく、個人ワークといった自身のことを深掘していく機会を得られたので、すごく良かったです。

理系や理系女子に対する イメージ変化



[IRISコメント]

就職活動の時期に実施している自己分析を大学入学前に行えば、進路をより納得いくものになれたかもしれないと感じた経験から、付箋を用いた自己分析ワークを実施しました。初の試みだったため不安な部分もありましたが、中高生に楽しんでもらおうとIRISの4人で入念な準備を行いました。終了後のアンケートではワークが面白かったと回答があり、今後のIRISの活動の励みになると感じました。
(理) 荒木



学外との連携

IRISは、企業や行政機関とともに、様々な活動に取り組んでいます。

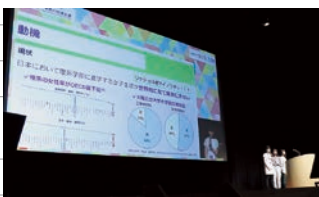
日経STEAM2023シンポジウム

IRISは5月から6月の期間、インクルーシブがテーマのワークショップに参加し、本番でのプレゼンテーションコンテストに挑みました。

学生サミット 未来の地球会議

発表タイトル 「理系女子を増やすために私たちIRISができること」

日 ち	2023年7月19日(水)
会 場	大阪国際交流センター
主 催	日本経済新聞社 大阪本社
来場者数	高校生:531名、大学生・院生:208名、関係者・一般:151名
IRIS	(工)森田、(工)浅田、(農)谷川
学生取材班 IRIS	(農)脇田



[IRISコメント]

高校生から大学生までの幅広い立場から、それぞれが興味関心のある問題に対する提案や解決策を聞くことができ、多様性を勉強することができました。女性理系進学をテーマに、具体的に解決法を提案する点で苦戦しながらチーム全員で考え方や価値観を共有したことは、IRIS活動を通じ自分がなりたい姿を明らかにする糧となりました。
(工) 浅田



企業研修

積水ハウス株式会社の研究所概要について説明を受けた後、研究所を見学しました。また、女性研究員とグループトークする機会を設けていただいたことで「仕事観」、「やり甲斐」、「企業で活躍すること」に対する具体的なイメージを掴む機会を得ることができました。

日 ち	2023年11月27日(月)
会 場	積水ハウス株式会社 総合住宅研究所
プログラム	1.ガイダンス 2.施設見学(納得工房) 3.施設見学(Tomorrow's Life Museum関西) 4.女性研究員とのグループトーク
IRIS	(工)浅田、(工)井上、(工)後藤、(農)道菅、(農)山田、(農)中辻

IRISの声

- 自分は化学系の学科に所属しており、自ずとそれに近い業種で就職活動を行いました。今まで全く触れることのなかった業界を知る良い機会となりました。女性職員との交流で、キャリアビジョンや学生生活との違いなど就職後のお話を聞いて、就職前と後でやっておくべきことの参考になりました。残りの学生生活を有意義にしたいです。(工) 後藤
- 普段から住宅街を歩いているんな家を見るのが好きなので、今回の見学はとても楽しませていただきました。また、現在就活中ですが違う業界を見ていたため、住宅メーカーで働いている方々のお話は新鮮で興味深かったです。家よりも「暮らし」をデザインするという考えがとても印象に残っていて、素敵な考え方だと思いました。(農) 道菅



ロボットプログラミング教室「プログラボ」とIRISがコラボイベントを3年ぶりに開催しました。

※プログラボとは……阪急阪神ホールディングスグループの株式会社ミマモルメと讀賣テレビ放送株式会社とで共同運営する、子ども向けロボットプログラミング教室です。

女子限定イベント「IRISに聞く進路講演～理系のおはなし きてみよう!～」

日 に ち	2023年11月12日(日)
会 場	プログラボ豊中
主 催	プログラボ教育事業運営委員会
参 加 者	小学5年生～高校生までのプログラボの生徒7名、保護者5名
講 師	情報学研究科 博士前期課程2年 鶴田さん、IRIS第13期生(情)多田



企業による学びの応援プログラム

堺市教育委員会の実施している「企業による学びの応援プログラム」に、理系女子大学院生チームIRISもプログラム掲載しています。

	堺市立 浅香山中学校	堺市立 浜寺南中学校
日 に ち	2023年7月10日(月)	2024年2月2日(金)
参 加 者	中学2年生 計29名	中学2年生 計63名
I R I S	(理)山本[は]、(工)浅田、(工)本田	(農)水口、(農)西田

掲載プログラム

「15歳の進路」対象：中学生

- 中学～大学院までの経験についてポスター発表
- 進路選択のきっかけを講演
- 受験勉強など中学生との質疑応答

「自分のやりたいことをclearにしよう」対象：高校生

- 進路選択のきっかけを講演
- 受験勉強など中学生との質疑応答
- 大学や大学院での生活やその先について講演

【IRISコメント】

私たちは、大学院進学までのきっかけや思いを、ポスターを使って発表しました。実際に中学生の頃の自分を思い出しながら、できるだけ分かりやすく、身近に感じることができるような発表を心掛けた。中学生のみなさんが真剣に聞いてくださり、興味を持ったことを直接質問してくれたことがとても嬉しく、今後の進路選択に少しでもお役に立てれば幸いです。



(理) 山本 [は]

学内他事業との連携

IRISのメンバーは、大阪公立大学が実施している他のサイエンス・コミュニケーション関連事業にも、主にティーチングアシスタント(TA)として参加/参画しています。

未来の博士育成ラボトリー

主催：大阪公立大学協創研究センター「未来の博士育成ラボトリー」
担当：川又修一 教授(工学研究科)

大阪公立大学では、堺市教育委員会・教育センターと連携し、科学リテラシーの高い中学生を対象に、本学教員による高度で多様なSTEAM教育プログラムを提供することで、次世代を担う科学人材の育成活動に取り組んでいます。

理系女子学生による実験企画

「混ぜる、分ける、IRISと！科学で謎を解き明かそう！」

日 に ち	2023年12月9日(土)
会 場	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A4棟
参 加 者	小学生23名、中学生22名、高校生3名
I R I S	● クロマトグラフィーで色の謎に迫る！ (理)大村、(理)山本[奈] ● 界面活性剤の原理を学ぼう！ (農)中尾、(農)井上

「演示実験開発プログラム」TA活動

日 に ち	2023年10月14日(土)～2024年2月3日(土) 全6回
会 場	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A14棟
参 加 者	中学生29名、高校生8名
I R I S	担当回数6回：(工)井上 担当回数5回：(現)日下、(農)中辻 担当回数4回：(工)阪口

【IRISコメント】

IRISとして初めての活動がこの「演示実験開発プログラムTA活動」でした。活動中は、IRISのメンバーがそれぞれ分かれて、学生の実験の補佐を行いました。実験で得られた結果からどんなことが分かるか、なぜそうなるのかを考えてもらうよう、自分なりに工夫して活動に取り組みました。参加学生の実験に対する集中力と好奇心旺盛な姿が非常に印象的でした。(現) 日下



【IRISコメント】

参加者のみなさんに科学の楽しさを知ってもらうにはどうすれば良いか、IRISでアイデアを出し合いました。実験結果を見て「なぜ?どうして?」など疑問を持ち、参加者のみなさんと話し合いながら考察している姿が印象的でした。このイベントを通じて身の回りには科学が溢れていることを実感し、理系進学に興味を持ってくださる人が増えるとうれしいです。(農) 井上



女子中高生のための関西科学塾

主催：一般社団法人関西科学塾コンソーシアム、奈良女子大学
共催：大阪公立大学

関西科学塾は、女子中高生に、「理系分野のおもしろさを実験・実習を通して伝えること」「理系を好きな仲間が大勢いることを知らせること」「職業として、さまざまな理系の仕事があることを知らせること」を目的とし、関西の5大学(大阪大学、奈良女子大学、京都大学、神戸大学、大阪公立大学)が協力し、大学で実験講座や交流会を開催しています。IRISは進路選択の体験談や、受講生、保護者との懇談を行いました。

C日程

日 に ち	2023年10月29日(日)
会 場	大阪公立大学 杉本キャンパス
内 容	開会式講演会、教員・IRISとの懇談会
運営実施	大阪公立大学女子STEAM人材育成研究所
参 加 者	女子中学生：57名、同伴者54名
I R I S	(工)後藤、(農)水口



NEW!! リビングこども大学2023

主催：サンケイリビング新聞社 編集部 子ども大学事務局
学内担当：大阪公立大学 研究推進課 技術推進担当

サンケイリビング新聞社の夏休みイベント「リビング子ども大学」が、大阪・兵庫の4大学で開催されました。本学の技術職員チーム SMTS が講師を務め、補助として IRIS2名が活躍しました。



日 ち	2023年8月9日(水)
会 場	大阪公立大学 杉本キャンパス
参加者	小学1年～6年生の親子 30組60人
IRIS	(理)坂本、(工)松田

堺市学校理科展覧会

主催：堺市教育委員会、堺市立小・中・高等学校長会、堺市初等教育研究会理科部会、堺市中学校教員研究会理科部会
企画・実施：大阪公立大学 女子STEAM人材育成研究所

堺市の理科教育振興を目的とした展覧会に、大阪公立大学女子 STEAM 人材育成研究所が科学実験を出展しました。IRIS は連携事業として、教職員並びに大阪公立大学工業高等専門学校の女子学生有志チーム ROSE (ローズ) と協働して、7つの実験を企画し、実施しました。当日の演示には、関西科学塾 OG も協力し、交流しました。

日 ち	2023年9月17日(日)
会 場	堺市教育文化センター(ソフィア・堺)
内 容	科学演示実験
参加者	298名
IRIS	(理)坂本、(理)川畑、(農)椋元、(農)中辻 [企画のみ](農)脇田



[IRIS コメント]

実験の企画や試演、ポスター作成など、短期間に多くのことをこなすことが大変だと感じました。当日は全ての実験ブースが終始大盛況で、子どもたちが夢中で目を輝かす様子や、多くの子どもたち、および保護者の方々との交流があり、私自身とても楽しみながら実施していました。今回の理科展によって、科学の面白さや魅力を感じてもらえていれば嬉しいです。



(農) 椋元

ノートルダム清心学園

主 催：ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校
学内担当：中澤昌美講師(農学研究科)

「集まれ!理系女子」第15回 女子生徒による科学研究発表交流会

	オンサイト全国大会	オンライン全国大会
日 ち	2023年11月12日(日)	2024年2月3日(土)
会 場	東京都立大学 南大沢キャンパス	バーチャル会場 oVice
IRIS	(理)覺、(工)赤井、(工)山中、 (工)片倉、(工)本田、(農)松本、 (農)永峰、(農)中辻	(工)網本



発表タイトル

- 物理
「背景重力波偏極モード検出を目指した重力波ラジオメトリ解析の開発」
- 化学
「塩化物電解質を用いた全固体電池の評価」
「最先端電池の世界一全固体ナトリウム二次電池一」
- 材料工学
「深共晶溶媒を用いた機械的特性に優れた電析 Ni の作製」
「短下肢装具ソール材への応用に向けた可撓性を有する CFRP の機械的特性に及ぼす影響因子」
「生体材料への応用を見据えた水酸化マグネシウムナノ結晶分散液の合成」
- 生物
「細胞の骨格構造調節を担うアクチン脱重合因子は、遺伝子発現を制御する」
「ユージェナのワックスエステル組成制御を目指した研究」
「運動による骨格筋量の増加におけるビタミン A シグナルの関与」

昼食交流会 / 実験 TA

日 ち	2023年12月20日(水)	
内 容	昼食交流会	実験
会 場	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 食堂	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス C7棟
参加者	ノートルダム清心学園 清心女子高等学校1年生:36名	
IRIS	(工)井上、(工)後藤、 (農)永峰、(農)吉川、 (農)山田、(獣)高見	(農)永峰、(農)吉川、 (獣)高見



[IRIS コメント]

ポスター発表会では研究室で実際に行っている研究を高校生にもわかるようにわかりやすく発表しました。IRIS 生に加え高校生による発表もありました。授業や部活動で研究を行っているようで、研究テーマが各々個性的で興味深かったです。発表会の後は交流会も行い、実際に理系に進学した者としてお話ししました。これを機に理系進学に対して興味を持っていただけなのであれば嬉しいです。(工) 赤井



育英西高等学校

育英西高等学校の女子生徒との交流会

日 ち	2023年10月3日(火)
テ ー マ	リケジョが伝える! 理系の魅力
会 場	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館
参加者	育英西高等学校1年生26名、育英西高等学校教員2名
主 催	大阪公立大学 現代システム科学研究科 大塚 耕司 教授
共 催	大阪公立大学 女性研究者支援室
IRIS	(工)松田、(工)本田

参加者の声

- 大学院生のお話を聞いて、より理系に興味を持ちました。その中で苦手分野があっても、そこで諦める必要はないという言葉聞いて私も理系に挑戦してみようと思うことができました。
- 理系の良さだけでなく理系になるまでの過程や大学に入ったあとのことなどまでお話を聞けたので、とても良い経験になったのではないかと思います。また、カードゲームを通して研究内容にどのような単語を用いるのか、考え方も学べてよかったなと思いました。



理系女子との交流会

IRISは、身近な理系女子のロールモデルとして中学生・高校生・学部生との交流を図っています。また、IRISメンバー同士でも専門分野を超えて交流しています。

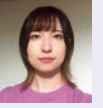
NEW!! 徳島大学理系女子との交流

IRISと同様に、地域での理系女子ロールモデルとして活躍している他大学の理系女子との交流を図ることで、互いの活動をより良いものに発展させていくことを目指します。今回は、徳島大学理工系次世代女性研究者チームJ-SWEETとの交流会を開催しました。

日にち	2023年9月22日(金)
会場	zoom(オンライン)
プログラム	1. 各活動説明 2. アイスブレイクゲーム(共感ゲーム) 3. 座談会
企画/幹事	[J-SWEET]理工学部4年:武本さん、吉岡さん、[IRIS](理)坂本、(農)西田
参加者	[J-SWEET]理工学部4年:伊井さん、2年:田村さん、坂東さん、 [IRIS](工)玉野、(医)安藤

[IRISコメント]

交流会開催にあたって、両大学企画担当者間で意見交換し、テーマ等を決め、ボリューム満点の会にすることが出来ました。司会進行として参加者の方々に楽しんで頂けるか不安でしたが、終わる頃には話し足りないと感じるほどに盛り上がりました。今回をきっかけに、J-SWEETさんとIRISとの交流を一層深めていくことができれば非常に幸いです。



(農)西田

OG交流会

現役IRISとIRIS OGのみならず、OG同士も交流する機会を設けることで、世代を超えた繋がり強化を図ります。今年度は、10期生のリーダーを務めた橋脇さん(旧姓:坂野さん)と、12期広報リーダーを務められた森本さんにご登壇いただきました。また、茶話会では年代を超えたIRIS同士がざっくばらんに意見交換を行いました。

日にち	2023年11月4日(土)
場所	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A6棟ラーニングcommons
プログラム	1. IRIS OG2名による講演 2. IRIS OGと現役IRISとの茶話会
講師	橋脇 文香 氏…大阪ガス株式会社 勤務(研究職) 森本 真尋 氏…株式会社 島津製作所 勤務(開発職)
IRIS-OG	乙山 美紗恵 氏(IRIS第7期~第9期) 廣畑 美緒 氏(IRIS第11期~第12期)
企画/幹事	(理)坂本、(工)赤井
IRIS	(工)奥村、 (工)阪口、 (工)浅田、 (工)井上、 (農)西田



登壇 IRIS OG

橋脇 文香さん
(IRIS 第9期~第10期)
大阪府立大学大学院
工学研究科
航空宇宙海洋系
航空宇宙分野
(2020年度修了)



森本 真尋さん
(IRIS 第11期~第12期)
大阪府立大学大学院
工学研究科
機械工学系
機械工学分野
(2022年度修了)



IRISの声

- IRISの卒業生という比較的身近な方だからこそ、和気藹々とした雰囲気の中で、企業を通してでは聞けない率直な話を聞くことができた。
- 普段中々相談する相手がいませんが、就職活動や就職後のキャリアプランについて気軽に相談ができました。
- リラックスした雰囲気での交流できたのがよかったです。

NEW!! 白鷺祭 模擬店出店

白鷺祭にIRIS有志でドリンクスタンドを出店しました。色が変わる不思議なお茶(バタフライピー)で実験遊びをしました。

日にち	2023年11月4日(土)、11月5日(日)
会場	大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス
企画/幹事	(工)浅田、(工)井上、(農)谷川、(農)西田、(生)藤澤
当日協力	(理)大村、(工)森田、(工)片倉、(工)本田、(工)後藤、(農)櫻元、 (農)井上、(農)本田、[第12期生](農)永濱

商品のポイント

おいしく楽しく実験ができるような工夫をしました。バタフライピーはpHで色が変化する性質を持ちます。酸性のレモン汁を入れることで、青色から紫色へはつきりと色が変化するようにしました。さらにおいしく飲んでもらうために、シロップを入れて甘さ調節してもらいました。このように、食を通じて、気軽に科学に触れる機会を提供することができました。



[IRISコメント]

食物を扱う学部が多いことから、食べ物を使った企画がしたいと思い、IRIS初の模擬店を出店しました。企画では、模擬店経験者のIRISに意見をもらいつつ、企画メンバー中心に準備し、当日は、多くのIRISが店の運営に協力してくれました。お客さんがIRISを知ってくれただけでなく、IRIS同士の親睦も深まり、とても楽しい体験でした。(工)井上



大阪公立大学 オープンキャンパス2023

理系女子大学院生チームIRISと話そう!! お悩み相談会

大阪公立大学では、中百舌鳥・杉本・阿倍野・りんくう・羽曳野の各キャンパスで来場型のオープンキャンパスを開催し、IRISは、中百舌鳥キャンパスと杉本キャンパスに分かれて女子中高生向けの相談座談会を開催しました。また、キャンパス間をオンラインで繋ぎ、可能な限り参加者のニーズに応える工夫を行いました。

日にち	2023年8月6日(日) 25分×6回実施	
会場	中百舌鳥キャンパス B2棟 1F ラーニングcommons	杉本キャンパス 1号館1階 研究支援センター
参加者	高校生:28名 その他:15名	高校生:18名 その他:15名
IRIS	(情)★多田、(工)☆浅田、(工)松村、 (工)奥村、(工)★森村、(農)櫻元、 (農)道菅、(農)山田、(農)井上、(農)本田	(理)☆坂本、(理)大村、(理)松浦、 (理)★山岡、(工)玉野、(工)後藤、 (医)☆安藤、(生)藤澤
事前準備	(工)片倉	



IRIS Café

IRIS Caféの企画担当者が交代で幹事となって、毎回テーマを設けて自由参加で開催しています。情報収集やリフレッシュなどの様々な機会を共有することで、縦と横の繋がりが広がります。

	日にち	企画/幹事	参加IRIS
1回目	2023年8月21日(月)	(理)☆坂本、 (理)☆大村、(工)阪口	(理)荒木、(工)玉野、(工)井上、(工)後藤、 (工)片倉、(農)井上、(農)道管
2回目	2023年9月20日(水)	(理)松浦、(工)山岡、 (農)道管	(理)坂本、(理)山本[奈]、(工)玉野、 (工)山中、(工)後藤
3回目	2023年10月17日(火)	(工)瀬間、(工)山中、 (工)浅田	(理)坂本、(工)後藤、 (農)水口
4回目	2023年11月22日(水)	(理)山本[は]、 (工)玉野、(工)片倉	(理)坂本、(工)後藤、 (工)本田
5回目	2023年12月17日(日)	(現)日下、(工)後藤、 [企画のみ](農)★中辻	(工)赤井

[IRIS コメント]

今年度は対面での開催が可能となり、一緒にお昼ご飯を食べるランチ会や、ボードゲームなどを中心に各月の担当者の方々が、IRISのメンバー同士がより交流を深めるような面白い内容を企画していただきました。参加した方からは「楽しかった」という声をたくさん聞きました。今後も、IRIS CaféがIRISメンバーの輪を広げるきっかけになればいいと思います。(農)中辻



IRIS第13期生の 広報活動

IRISでは毎年有志の広報チームが、IRISの活動を広く知っていただくための自主活動を行っています。今年度からの新しい取り組みとして、進路講演会参加者を対象としたLINEの開設や、白鷺祭でのIRISラジオの放送を実施しました。また、昨年に続き、学内でIRISの活動をアピールするため、メッセージ性のあるポスターを作成しました。

ソーシャルメディア

X (旧 Twitter) や Instagram を使用して、IRIS の活動について投稿したり、IRIS の活動を知ってもらえるように新たな媒体として公式LINEを活用しました。

X、Instagram担当：(工)松村、(農)★中尾、(農)水口、(農)花井
X、Instagramフォローメンバー：(理)覺、(理)山岡、(工)小池、(農)本田、(医)安藤
LINE担当：(理)坂本、(理)★大村、(理)山本[奈]、(工)森田



X



@IRIS_omu



Instagram



@iris_opu_omu

NEW!!



LINE

LINEについて

IRISの進路講演会に参加してくれた中学生・高校生を限定対象に、進路の悩みや、理系の学生生活への疑問についてIRISが月に1回の頻度でお答えしています。



[IRIS コメント]

今年度のSNSでは、サイエンス・キャンパスをはじめイベントの活動報告を投稿しました。女性研究者支援室ホームページに掲載された活動報告のリンクをSNSに掲載し、ホームページとの連携を心がけました。研究活動との両立が難しく、昨年のような理系大学院生の日常や大学受験のエピソードの投稿までは及びませんでした。計画は考案していますので、来年度に活かしたいと思います。(農)中尾



[IRIS コメント]

各SNS担当が発信している情報をより確実に、理系進学に悩む女子中高生に届けるために、公式LINEの活用を思いつきました。研究活動や他のIRISでの活動との両立に苦勞し、設立までに予想以上の時間が掛かってしまいましたが、新企画が実現できたことを嬉しく思います。有効的な利用方法を考えて来年度に引継ぎし、より広報活動を盛んにできたらと思っています。(理)大村



ホームページ

昨年作成したHPをより発展させ、「よくある質問」など、新たなページを作成しました。IRISの目線で活動について紹介しています。

担当IRIS：
(工)★森田、(工)井上
フォローメンバー：
(工)松田、(農)水口、
(農)花井

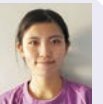


NEW!! IRISラジオ in 白鷺祭

歩いていたなら自然に耳に入ってくる情報としてIRISの活動を紹介したいというメンバーの声から白鷺祭内での放送を実施しました。担当IRIS：(工)★山中

[IRIS コメント]

広報新企画担当では、「IRISラジオ」という企画名で、白鷺祭にIRISの音声広告を出す(白鷺祭が行っているラジオで放送してもらう)ことを提案し、実現しました。研究をしながら、限りある時間と設備を使って工夫し、自分で提案したものが形になったことに達成感を感じています。「当日にIRISの宣伝を聞いたよ!」という声を聞いて嬉しくなりました。(工)山中



IRISオリジナルグッズ

特にオープンキャンパスや進路講演会などIRISの企画へ参加してくれた女子中高生を対象として、イベント参加時や日常生活でメモとして使用しやすいミニノートを作成しました。担当IRIS：(理)山岡、(工)松田、(工)浅田、(工)★本田、(工)小池、(農)本田



[IRIS コメント]

メモをとりたい際にスマホ使用ができない場面の多い中高生や、私たち大学院生も使いやすいミニノートを作成しました。カバンの中でもかさばらないサイズ感や男女ともに持ちやすいカラーになるようにこだわりました。表紙デザインは、私たちが日常的に使用する実験器具や白衣などのアイコンを配置しました。シンプルながら長く使っていただけのグッズに仕上がったと思います。(工)本田



常設ポスター

イベントのない時期でも、学内でIRISをもっと広く知っていただけるように、常設のポスターを作成しました。また、4月に実施するIRISの新規募集用のポスターも作成中です。担当IRIS：(現)日下、(理)★覺、(理)坂本、(工)瀬間、(農)脇田、(医)安藤



ご挨拶

●学長から



大阪公立大学 学長 辰巳 昌弘

2011年からスタートしたIRISは今年度13年目を迎えました。日本での女性研究者の割合は未だ17.8%と低く、その中でも理系は特に少ない現状にあります。本学では、女性研究者育成としてIRISを創設し、その活動に力を入れています。IRISは、サイエンス・キャンパスや進路講演会、オープンキャンパスでの進路相談会などを実施することで、地域の子どもたちにとって身近な理系研究者のロールモデルとなり、科学の楽しさを伝えます。また、IRISにとっても企画を立てることがサイエンス・コミュニケーションを学ぶ良い機会となっています。今年度は、これまで積み重ねた活動が評価され、日産財団リカジョ育成賞準グランプリを受賞することができました。これも、IRISに活動の場をご提供くださいました地域の皆様のおかげです。厚く御礼申し上げます。今後とも、IRISの活動にご理解とご支援を賜りますよう、お願いいたします。

●支援室長から



女性研究者支援室長 情報学研究科 教授 真嶋 由貴恵

大学統合を経て丸2年を迎えようとしています。統合によりIRISは4キャンパスで活動していましたが、今年度からは5キャンパスに増えて、新たな活動にもチャレンジしてきました。統合によるスケールメリットを感じる活動に変化し続けていることを大変嬉しく、そして嬉しく思います。本学の女性研究者支援室では、研究支援員の配置や相談・ロールモデルセミナー・女性研究者交流など、様々な事業を行っています。その中で、学内からも地域からも活躍を期待されているのがIRISです。年度初めに、大阪府内の自治体をはじめ、他大学や企業からもイベントの招聘依頼をいただいています。周到な準備のもと行う子どもたちのサイエンス・キャンパスは保護者含め大変良い評価をいただいています。今年度は特に、他大学との理系女子と繋がる機会として、徳島大学理工系次世代女性研究者チームJ-SWEETさんとの交流会も実現しました。IRISを中心に、女性研究者の輪が広がっていくことを期待しています。IRISは1年ごとの活動になりますが、チーム名の由来である「I'm a Researcher In Science」のプライドをもって、今後も様々な人と関わりながら、VUCAの時代を切り開いていく人材となることを確信しています。

IRISへのメッセージ

●女性研究者支援センター長から



女性研究者支援センター 中百舌鳥センター長 工学研究科 教授 森澤 和子

IRIS 第13期生の皆さん、1年間の活動いかがでしたか。今年度は、サイエンス・キャンパスや進路講演会などの地域等からのご依頼に応じて実施するイベントに加えて、IRISからの提案で、本学白鷺祭への出店や常設ポスターの作製などの新たな活動を積極的に展開してくれました。IRISを学内外の方にもっと広く知ってもらいたいという思いをもって活動してくれたこと、その思いをしっかり形にしてくれたことを非常に嬉しく頼もしく感じました。この1年のIRISとしての活動や経験が皆さんの今後の活躍の糧となることを心から願っています。



女性研究者支援センター 杉本センター長 工学研究科 教授 鍋島 美奈子

昨年度から、女性研究者支援室のメンバーと共にIRISの活動をサポートしています。今年度はIRISに参加する大学院生の所属キャンパスも多岐にわたり、任命当初はメンバー間のコミュニケーションをとるのが大変そうだと感じました。しかし実際には、様々なコミュニケーションツールを駆使して、活発に活動している様子を見出し、とても頼もしく感じました。理系女子院生は身近に女性が少ない状況になることが多いので、研究生生活の悩みを相談できる横のつながりを持つことは重要です。IRISでの経験やそこで培ったネットワークが、今後の皆さん自身の研究活動にとって良い刺激になることを願っています。

●女性研究者支援センターIRIS担当者から



中百舌鳥キャンパス 元家 瑞月

今年度のIRISメンバーの所属は、5キャンパス（阿倍野、杉本、中百舌鳥、羽曳野、りんくう）に広がり、過去最大の異分野交流ができた1年だったように思います。一方で、遠隔地のメンバーにはリハールなど対面で集まる際に、ご不便をおかけしました。今後の課題として捉え、より良い活動の場を提供できればと考えています。歩まれる道は様々ですが、IRISで活動した経験やIRIS同士の繋がりが、長い人生の一助となれば幸いです。皆さんの益々のご活躍を心より祈念いたします。



杉本キャンパス 松江 あす香

今年度は対面では、白鷺祭に合わせて開催したOG交流会、オンラインでは、徳島大学理工系次世代女性研究者チームJ-SWEETとの交流、ハイブリッドではIRIS-Café等、他にも様々ありますが、対面とオンラインのよい部分を上手く使い分けながら、活動していただきました。IRISの皆さんの柔軟な発想やチャレンジ精神には、いつも刺激をもらっています。忙しい研究生生活の合間を縫って活動するのは、大変だと思いますが、一人ひとりのIRISの皆さんにとって、少しでもプラスになることがあれば嬉しいです。

IRISの活動を経験して

初めてのIRIS活動を振り返って

玉野 朋佳【IRIS活動期間：第13期】

大阪公立大学大学院 工学研究科 機械系専攻 機械工学分野 博士前期課程1年



幼い頃に参加した理科教室が進路選択に繋がったため、私も理科の面白さを広めたいと思いIRISに参加しました。サイエンス・キャンパスでは、どうすれば小学生でも理解できるかを試行錯誤しながら準備する時間は、忙しくもとても楽しい時間でした。参加者が素直に楽しむ姿を見て、改めて理科の面白さを実感しました。活動を通してメンバーを初め、沢山の方々と繋がりが持てたことが嬉しかったです。

高見 優生【IRIS活動期間：第13期】

大阪公立大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻 動物構造機能学分野 博士課程1年



「理系」といってもひとくくりにはできないほど幅広い分野があり、その一部しか知らないまま進路を選ぶのはもったいないと感じていました。進路講演会などの活動を通して、少しでも進路を考えている方の選択肢を増やすお手伝いできていれば幸いです。私自身も活動を通して、様々な専門分野に打ち込むIRISのみならずからその研究のおもしろさを教えていただき刺激になりました。

2年間のIRIS活動を振り返って

多田 瑞葵【IRIS活動期間：第12期～第13期】

大阪公立大学大学院 情報学研究科 基幹情報学専攻 知能情報学分野 博士前期課程2年



主に講演会活動に取り組み、理系に興味を持つ女性を後押しすることや進学にあたっての不安を和らげることを目指しました。何度も打ち合わせをして試行錯誤した講演会で「面白かった」「不安がなくなった」と感想を頂いた際は本当に嬉しかったです。小学生から高校生まで幅広い年齢層に向けて話すこともあり、次世代を担う方々の情熱や可能性に触れて身の引き締まる思いでした。

松本 朋子【IRIS活動期間：第12期～第13期】

大阪公立大学大学院 農学研究科 応用生物学専攻 博士後期課程1年



IRISの活動を博士後期課程においても継続するか決断する際、研究活動と両立できるかどうか不安でしたが、杞憂に終わりました。IRISでの活動は研究を進める上でリフレッシュになりましたし、何より様々な経験ができたことを財産に感じています。特に昨年度、12期生の皆さんと進路についてお話し、研究のモチベーションにつながったことはこの2年間の貴重な思い出になりました。

羽曳野キャンパスから初参加

藤澤 美祐【IRIS活動期間：第13期】

大阪公立大学大学院 生活科学研究科 生活科学専攻 食栄養学分野 博士前期課程1年



私はリハールを行うキャンパスとは異なるキャンパスに所属していますが、IRISは他キャンパスからの参加者に対する支援体制が整っていると考えています。実際に、リハール回数を最小限に抑えるために、オンライン会議やメールを通じて連携を重ねることで、企画を進めることができました。さらに、学生や職員の方々の暖かさに支えられたため、円滑に活動できました。

積極的に多数の活動に参加して

坂本 沙優【IRIS活動期間：第12期～第13期】

大阪公立大学大学院 理学研究科 化学専攻 博士前期課程2年



2年間IRISの活動をさせていただきました。IRISの活動はとても良い息抜きになっていて、普段は接することのない人と沢山お話しできてとても楽しかったです。研究等で忙しいときは他のメンバーや支援室の方々に助けていただき本当に感謝しております。何でも相談しやすい雰囲気だったので無理なく続けることができました。IRISの活動を通して有意義な2年間を過ごすことができました。

大阪公立大学 女性研究者支援室

E-Mail gr-knky-wsupport@omu.ac.jp

URL <https://www.omu.ac.jp/r-support/>

TEL (072)254-9856 (中百舌鳥キャンパス)



●女性研究者支援センター
(中百舌鳥)
〒599-8531
堺市中区学園町1-1 C4棟101

●女性研究者支援センター
(杉本)
〒558-8585
大阪市住吉区杉本3-3-138 1号館1階

IRIS活動報告編集委員
IRIS第13期生：井上 結・藤澤 美祐
女性研究者支援室：
元家 瑞月
発行：2024年2月